

第14回夢メッセみやぎ講演会 を開催しました

一般財団法人みやぎ産業交流センターは、去る3月21日、展示会・見本市の有用性を再確認していただき、展示会場「夢メッセみやぎ」をビジネスの場としてより有効に活用していただくため「第14回夢メッセみやぎ講演会」を開催しました。

講師：展示会ブースに特化した「空間デザイン会社」SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 竹村 尚久氏

演題：【実演】最強の出展結果を出す「ロジカルなブースの作り方」

～「来場者の心理」から考える「空間デザイン」とは？～



展示会は、出展者である企業等が商品やサービスを、来場者にアピールするための“場”です。
来場者にアピールするためには、どのようにしたらよいか、出展担当者の大きな悩みと言えます。
出展者の悩みを軽くするため、どのようにしたら来場者にアピールすることができるかについて、実際にブースをつくって解説していただきました。

ブースは、夢メッセ利用誘致を目的と設定し、講師によるプロのブースと、出展担当者による素人のブースの2つを並べ比較しました。

出展する催事の想定

- ・開催地域：仙台以外の都市
- ・出展目的：夢メッセ利用誘致
- ・小間位置：ブースが多く並んでいるエリアの中央あたり。ブースは1面のみ開放で、両サイドは他の出展者に囲まれており、3メートル幅の通路の向かい側にも他社の出展ブースが並んでいるという配置。

ブース作成条件(2つのブースの条件をあわせるため設定)

- ・スペース：幅 3,000×奥行 3,000×高さ 2,400 mm
- ・什器：展示台有、木工禁止



【左】出展担当者による素人のブース

ブースをつくるにあたって、講師の著作を熟読し、前年度講演会「出展満足度を高める『展示会デザイン』5つのポイント」の中でお話いただいた内容の再現を目指しました。

○ポイント1「小間位置」を読む

来場者が通路を歩きながら、左右どちらから来ても見えるよう、通路際にパネルを配置しました。

○ポイント2「何を扱っているか」を掲示する

何をあつかっているか、夢メッセでいうと、「東北最大」の「展示会場」であることを何よりも強調しました。

○ポイント3「通路際」を活用する

アイキャッチとして、通路際の展示台正面に夢メッセみやぎのVIを掲出しました。

その上には、施設パンフレットを配置し、ブースに入ってこなくても、手に取りやすくしました。

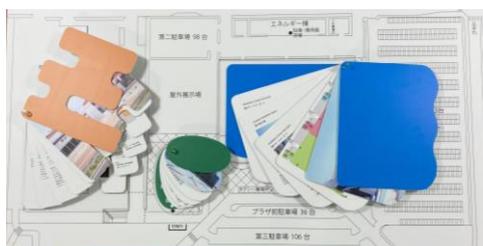
○ポイント4「滞留時間」を伸ばす

1 つ目は、建物の形のパネルに画像や施設の情報を掲出し、いくつも重ねました。このパネルは横にずらすことができるようになっています。興味を持った来場者が、つい立ち止まって、触ってみたいと思うしかけです。

2つ目は、パネルに掲出する言葉を、すべて質問にして、気になった来場者に答えを聞くために話しかけてもらうことを狙っています。

○ポイント5「待機方法」を工夫する

来場者を待ち構えている雰囲気を出さないよう、立ち作業をしながら待てる高さの台を奥に設置しました。



展示台上の建物の形のパネル

【右】講師によるプロのブース

「出展担当者による素人のブース」で再現を目指した講師が提唱する“ペンギンメソッド”をベースに、実際の展示会での動きやSDGsの視点を加えた工夫が凝らされたブースを披露されました。

○壁には、使い捨てとなりやすいパネルではなく、繰り返し使用可能なタペストリーを使う。

タペストリーのサイズをシステムパネルとほぼ同じにすることで、壁の凹凸をなくし、統一感や高級感を演出する。

○展示台の下は開閉可能な収納スペースとしたほか、展示台の上にはオリジナルの棚を置き、取り出しやすい位置に収納スペースを設け、必要に応じて資料を出し入れできるようにする。

展示台脇のパネルは脱着可能なものとして、繰り返し使用可能なつくりとした。

○照明はLED 投光器を使い、部分的ではなくブース全体を明るく照らす。



展示台の上

今回の講演会では、座学だけではなく、実際のブースを作成し、参加者がブースを見比べる時間を設けたことで、実践的な出展のアドバイスを受けることができたことと好評でした。

参加者からは、「すぐに試せそうな内容であることと、実際のブースを見ながら、というところが良かった。」、「ブースの配置だけではなく、待ち方・立ち方も学べた。」、「徹底的な入場者心理、入口対策が興味深かった。」、「事例が具体的で分かりやすい。」、「人を集めるブース作りのポイントについて理解することができた。」等の声をいただきました。



一般財団法人みやぎ産業交流センター
〒983-0001 宮城県仙台市宮城野区港 3 丁目 1-7
TEL022-254-7111 FAX022-254-7111
URL <https://www.yumemesse.or.jp>